

# 日本消防



- 第26回全国女性消防操法大会・激励交流会を開催
- ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」好評放送中！
- 第38回日中消防協会定期協議会に出席（北京）

- 絵 第26回全国女性消防操法大会・激励交流会を開催  
ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」好評放送中！  
第38回日中消防協会定期協議会

巻頭言 「2050年の消防団」	(公財)滋賀県消防協会 会長 今井 俊博	1
消防大学校消防団長科研修生が来訪	(公財)日本消防協会・総務省消防庁 消防大学校	3
日消の動き 第26回全国女性消防操法大会無事終了	(公財)日本消防協会 会長 秋本 敏文	4
第26回全国女性消防操法大会 横浜赤レンガ倉庫イベント広場で開催！	(公財)日本消防協会	5
第26回全国女性消防操法大会「激励交流会」を開催	(公財)日本消防協会	14
ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」出演者紹介	(公財)日本消防協会	17
特別表彰「まとい」を受賞して「連携で築く安心のまち」	山口県 美祢市消防団 団長 柳瀬 俊二	21
東西南北 (静岡県) 更なる「地域防災力の向上」を目指して	熱海市消防団 団長 櫻井 佳久	23
東西南北 (徳島県) 「絆で守る、阿南市の安全 ― 消防団の挑戦と未来」	阿南市消防団 団長 中川 満雄	25
東西南北 (大分県) 「時代に即した消防団活動に向けて」	玖珠町消防団 団長 梶原 龍生	27
シンフォニー (長野県) 「多くの方が参加し、応援される消防団を目指して」	松本市消防団 副団長 西沢 知恵美	29
消防団加入促進への取組み 消防団員一人一人を大切に	群馬県 高山村消防団 団長 後藤 英樹	31
共済事業交付車両の活用事例	神奈川県 藤沢市消防団	33
第38回日中消防協会定期協議会の開催	(公財)日本消防協会	35
令和7年度(第25回)「防火防災に関する」作文コンクールの審査結果について	(生協)全日本消防人共済会	37
「集団扱自動車保険」制度のご案内	(生協)全日本消防人共済会	39
令和6年中に発生した製品火災に関する調査結果	総務省消防庁 予防課	40
消防団活動事例 浦添市消防団と宜野湾市消防団で合同訓練を実施	沖縄県 浦添市消防団 団長 又吉 正信	41
うちの団のPR 自分たちのまちは、自分たちで守る	滋賀県 高島市消防団	42
うちの名物団員	長野県、福井県、静岡県、滋賀県、徳島県	43
消防団の広場(福井県) 令和に適した消防団の在り方	若狭消防組合おおい消防団 団長 時岡 良太	45

編集後記

## 表紙写真説明

### 「白糸ノ滝」

昭和11年、国の名勝及び天然記念物に指定され、昭和25年10月には「観光百選滝の部」で1位に選ばれ、古くからその見事な眺めが人々に愛され、天下の名瀑としてその名を轟かす白糸ノ滝です。平成25年には世界遺産の構成資産にも登録されました。写真は、秋の紅葉の中、世界文化遺産富士山とともに写っています。

写真提供者：富士宮市観光協会



# 第26回全国女性消防操法大会

令和7年10月28日(火)【神奈川県横浜市・横浜赤レンガ倉庫イベント広場】

(5頁～13頁に掲載)



# 第26回全国女性消防操法大会 激励交流会

令和7年10月27日(月)【神奈川県横浜市・大さん橋ホール】

(14頁～16頁に掲載)



# ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」 好評放送中！

(公財)日本消防協会

(17頁～20頁に掲載)

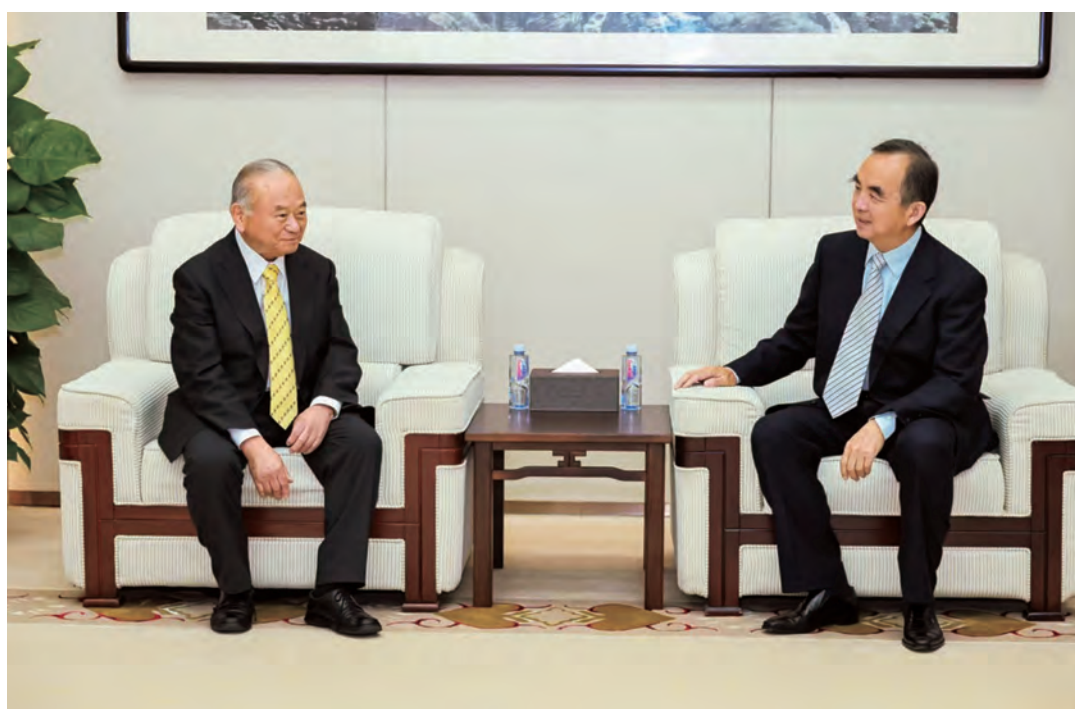




# 第38回日中消防協会定期協議会

令和7年10月12日(日)【中国北京市】

(35頁～36頁に掲載)



## 『2050年の消防団』

(公財)滋賀県消防協会 会長 今井 俊博



### 1 消防団活動

琵琶湖を中央に抱える滋賀県、県内の消防団は、毎月7日・20日の警邏活動や火災予防活動を中心に行われているが、夏の消防操法訓練大会に向けた訓練が大きな行事である。地域の消防団は春になるとメンバーを選出し、仕事前の早朝または仕事終わりのナイター練習等を経て、地区予選・県大会に臨む。

全国大会の開催年のみ隔年開催する府県があるようだが、本県においては現在のところ毎年の大会開催を維持している。

### 2 人口減少と南北問題

平成の市町村合併を経て50市町村が13市6町に集約されてきた。

旧の町村役場が支所となり、市役所機能が本庁に集約される中でも、消防団はおおむね合併前の体制が維持されてきた。

県内の人口は、京都大阪に近いことから、湖南地域(大津・草津・守山・栗東・野洲)のJR沿線を中心にベッドタウンとして人口流入が激しく、最近まで人口の減少は無かった。しかし、県北部での人口減少が大きく、県庁所在地の大津においても僅かではあるが減少傾向となり、滋賀県全体でも人口減少が始まっている。

### 3 操法大会の出場辞退

県内会員数(団員、署員)は、市町村合併後も1万人あったものが、令和6年から一気に8千人台に減ることになった。その背景には、県北部で消防団員の定数を大幅に減らしたことも一因である。

県内北部地域では、高齢化と若者の流出が進み、自治会組織も小規模になり、自主防災組織と消防団が空中分解するという地域の叫びを受けて、常備消防の庁舎再編強化と合わせて、消防団の組織再編をされたものである。

県北部の支部が、消防協会の主要行事であるポンプ操法大会への出場を辞退されることとなったこの年、県協会会長が交代し私が引き継ぐこととなった。

ポンプ操法は、早朝や夜間また曜日を問わない訓練時間や規律の厳しさから敬遠されることもあるが、車両や機械器具の取り扱いなど基礎的な消防技術の習得に欠かせないものであることから、出場されない支部においては、これに代わる訓練を実施するよう指示し、消防防災活動が停滞することがないように要請したところである。



#### 4 過渡期の消防団

私が活動してきた消防団を振り返ると、当時は自営業者が主体であり、早朝・夜間のポンプ操法訓練や警戒活動、そして時に酒を酌み交わし、まさしく体育会的な「昭和」の活動であった。

社会構造や働き方の変化により、消防団の担い手である若者の意識にも大きな変化が見られ、こうした活動が「令和」の時代に通用するのか難しいところである。

#### 5 今後 25 年

滋賀県の生産年齢人口(15歳から64歳)は、今後10年程度で7%程度の減少で推移するとされ、当面の団員確保は、勧誘や定年延長でのしげる可能性はある。

しかし、25年後の2050年になると、今の約四分の三と予測されており、団員の確保に苦勞する中で、団員定数の見直しをせざるを得ない自治体が出てくるであろう。

地域防災力の中核である消防団員が、日中不在となる可能性がますます増える。

住民や自治会への地道な勧誘のほか、小学生を対象とした消防団の出前講座を開き、受講した子どもさんからご家族への入団アプローチを期待するなど、様々な活動が必要と思われる。

あと一つが、女性活躍の視点である。団員に女性が少ないだけでなく、リーダー層に女性がほとんどいないことである。

企業の経営分析では、リーダー層における女性比率が高いと、企業業績が向上するというレポートがあると聞く。残念ながら、本協

会の女性役員は、県職員理事が1名いるだけで、消防団や常備消防からの選出理事は不在である。

#### 6 私の役割

全国女性操法大会も、令和9年度からは、男性と同じ小型ポンプを使用される。本県の消防団には、女性団員が男性に交じり市の操法大会に出場している団もあると聞く。

女性団員＝女性分団という固定観念にとらわれることなく、地域の分団員として活動してもらい、時には女性団員のグループとして活動してもらい、ハイブリッドな活躍を期待するものである。

2050年を見据え、「地域住民の皆さんの、生命財産を災害から守る」という基本理念の下に、消防団のあり方を考え、次の世代へ繋いでいくことが、私の役割だと思っている。



# 消防大学校消防団長科研修生が来訪

(公財)日本消防協会・総務省消防庁 消防大学校

令和7年10月8日(水)、消防大学校消防団長科第88期生28名が日本消防協会を訪問されました。団長の方々は、同協会の秋本会長から「消防団幹部のあり方」と題して、近年の地球環境変化を背景とする災害の様相変化に合わせた消防防災体制充実の必要性、消防団員確保対策の重要性等の講義を受けた後、全国消防殉職者慰霊碑の参拝、日本消防防災情報センターの見学等を行いました。



秋本会長講義



全国消防殉職者慰霊碑参拝



虎ノ門ヒルズ側玄関前での記念撮影



## 第26回全国女性消防操法大会無事終了

(公財)日本消防協会 会長 秋本敏文

今年の第26回全国女性消防操法大会は、第1回大会から40年目の大会でしたが、地元の神奈川県、横浜市の皆さんのご協力を頂き、また、審査員その他大会運営の実務を担当する皆さんのご尽力を頂き、前日の激励交流会を含めて、無事盛んに、10月28日(火)、終了することができました。ホッとしています。

消防操法大会につきましては、男性中心の全国大会も含めて、大会前の訓練の負担が大きいなどのご意見があることを考慮しつつ、コロナウイルス問題による中止期間中など、豊富な専門的な経験があり、実務をよくご存じの方々のご協力を頂いて、消防操法大会での実技、審査方法などについて何度も御相談頂きました。その結果、その時当面する男性中心の大会について、パフォーマンス的な動作については、細かい審査対象とはしない、しかし、現場活動でも重要な実技については、従来どおり行い、キチンとした評価対象とするということで必要な見直しを行うこととして、令和4年の千葉大会からそのように実行しました。そして、女性大会も同様とすることとして運営しました。これらについては、特別な異論はないと承知しています。

女性大会については、これまで使用してきましたD級ポンプが生産されなくなりましたので、そのことへの対応も必要となり、これについても専門的な実務をよくご存じの方々にご参加頂いて、協議して頂き、B級ポンプを使用し、ホースは50mmのものとするという結論になりました。これは、令和9年の大会から適用することとして、全国にお知らせしています。

消防操法大会には、出場までの訓練の負担が大きいなどの意見があり、このことが消防団員確保の障害になっているなどの指摘もありますが、消防操法大会の内容について、見直すべき点は見直しながら、効果的な現場活動、現場での安全確保など必要な訓練、操法は維持するということにしてきました。今後はさらに大会運営の実務負担についてもよく協議し、工夫して使用済ホースの回収などの業務の改善についてもできる限り努力したいと考えています。そうしながら皆さんのいろいろな活動が一層充実し、楽しみにして頂けるようにしたいと思います。

消防団員が減少し、その増員確保が大きな課題となっているなか、女性団員は増加の傾向を示しています。そのようななか、平成26年(2014年)に、女性消防団国際会議を東京で開催し、各国の女性団員の業務などについての情報交流をしたことがあります。傾向としては、男女による業務内容の区分から、男女に関わらないおひとりおひとりのお考えやお力による区分への変化があるように思われました。勿論、必要な活動環境や装備の問題もありますが、方向としては、皆さんのお力が一層発揮されて消防の総合力上昇、地域の安全向上が進むように気をつけなければならないでしょう。

# 第26回全国女性消防操法大会 横浜赤レンガ倉庫イベント広場で開催！

(公財)日本消防協会

令和7年10月28日(火)横浜赤レンガ倉庫イベント広場において、第26回全国女性消防操法大会を開催しました。

この大会は、女性消防隊の消防技術向上と士気の高揚を図ることを目的として2年に1回開催されており、安全、確実かつ迅速な消防活動の習熟に資するため、消防用機械器具(軽可搬ポンプ)の操作の基本について、その技術を競う大会です。

各都道府県を代表する女性消防隊44隊が出場し、日頃の訓練成果を披露しました。

また、操法終了後には、横浜市消防音楽隊・ポートエンジェルズ119の皆様によばらしい演技を御披露いただきました。

日 時	令和7年10月28日(火) 午前9時00分から
場 所	横浜赤レンガ倉庫イベント広場 神奈川県横浜市中区新港一丁目1番
主 催	総務省消防庁、(公財)日本消防協会
協 力	神奈川県、横浜市、(公財)神奈川県消防協会
参加者数	約2,500人

## 1 開会式



選手団整列



日本消防協会旗入場



開会宣言(野本 敏明 神奈川県消防協会会長)



内閣総理大臣賞優勝旗返還  
(第25回優勝隊 熊本県八代市本部女性消防隊)





主催者挨拶(高橋 克法 総務副大臣)



主催者挨拶(秋本 敏文 日本消防協会会長)



来賓祝辞(神奈川県知事代理 橋本 和也 副知事)



来賓祝辞(市川 博三 全国消防長会会長)



歓迎の辞(山中 竹春 横浜市長)



競技上の注意(石山 英顕 消防庁消防大学校長)



### 選手宣誓

#### 宣誓

私たち選手一同は、各都道府県代表として本大会に出場できたことを、この上ない名誉とし、操法にあたっては、この名誉を傷つけることなく、消防精神を深く認識し、正々堂々と実施することを誓います。

令和7年10月28日

選手代表 熊本県八代市本部女性消防隊  
隊長 笠田 佳子

## 2 操法競技

操法競技は、午前9時50分から開始。2コースに分かれ白熱した競技が披露されました。



審査開始報告



待 機



操法開始報告



操法開始(ポンプ準備、吸管延長)



吸管投入



ホース搬送



ホース延長



放水準備





放水始め



標的に向かって放水



放 水



放水やめ



審査員退場



ホース撤収

### 3 横浜市消防音楽隊・ポートエンジェルス119の演技

美しく迫力のあるパフォーマンスを御披露いただきました。



## 4 表彰式

石山英顕審査長から競技審査結果が発表され、引き続き表彰式が執り行われました。優勝隊に内閣総理大臣賞と日本消防協会会長賞が、準優勝隊（2隊）に消防庁長官賞と日本消防協会会長賞が、優秀賞（3隊）及び優良賞（6隊）には日本消防協会会長賞がそれぞれ授与され、最後に日本消防協会会長特別賞として、各操作員の10名（各コース5名）に優秀選手賞が授与されました。



選手団整列



成績発表



千葉県 柏市女性消防隊



## 準優勝 2隊



福岡県 筑後市女性消防隊



東京都 八王子市消防団女性消防隊



## 優秀賞 3隊



山口県 和木町女性消防隊



熊本県 八代市本部女性消防隊



三重県 津市女性消防隊



## 優良賞 6隊



岐阜県 高山市消防団女性消防隊ほか5隊

## 優秀選手賞 10名



優秀選手賞 10名

## 5 閉会式



万歳三唱(久高 清美 沖縄県消防協会会長)



国旗降納



閉会宣言(黒柳 祥子 大会運営委員)

## 第26回全国女性消防操法大会出場順

出場順	第1コース		第2コース	
	本部席側		応援席側	
	都道府県	消防隊名称	都道府県	消防隊名称
1	富山県	高岡市女性消防隊	神奈川県	小田原市女性消防隊
2	徳島県	鳴門市女性消防隊	鹿児島県	日置市女性消防隊
3	茨城県	潮来行方女性消防隊	岩手県	山田町女性消防隊
4	長崎県	五島市女性消防隊	和歌山県	那智勝浦町女性消防隊
5	群馬県	伊勢崎市女性消防隊	高知県	香南市女性消防隊
6	千葉県	柏市女性消防隊	秋田県	大仙市女性消防隊
7	静岡県	牧之原市女性消防隊	岐阜県	高山市消防団女性消防隊
8	広島県	尾道市女性消防隊	鳥取県	境港市女性消防隊
9	熊本県	八代市本部女性消防隊	奈良県	奈良市女性消防隊
10	京都府	京都市中京女性消防隊	宮城県	栗原市女性消防隊
11	三重県	津市女性消防隊	山梨県	南アルプス市女性消防隊
12	福井県	福井市消防団女性消防隊	岡山県	美作市女性消防隊
13	愛媛県	砥部町女性消防隊	山形県	小国町女性消防隊
14	北海道	千歳市女性消防隊	長野県	安曇野市消防団女性消防隊
15	大分県	日田市女性消防隊	兵庫県	姫路大学女性消防隊
16	大阪府	羽曳野市女性消防隊	山口県	和木町女性消防隊
17	栃木県	宇都宮市女性消防隊	埼玉県	皆野町女性消防隊
18	石川県	穴水町女性消防隊	宮崎県	椎葉村消防団女性消防隊
19	福島県	福島市消防団女性消防隊	沖縄県	沖縄市女性消防隊
20	東京都	八王子市消防団女性消防隊	愛知県	安城市消防団女性消防隊
21	青森県	青森市青桜女性消防隊	滋賀県	守山市女性消防隊
22	福岡県	筑後市女性消防隊	新潟県	上越市女性消防隊



## 第26回全国女性消防操法大会 成績表(出場隊)

順位	都道府県名	女性消防隊名	タイム(秒)	総合得点
優勝	千葉県	かしわしじょせいしょうぼうたい 柏市女性消防隊	49.29	90.0
準優勝	福岡県	ちくごしじょせいしょうぼうたい 筑後市女性消防隊	51.90	90.0
準優勝	東京都	はちおうじししょうぼうだんじょせいしょうぼうたい 八王子市消防団女性消防隊	50.20	89.0
優秀	山口県	わきちょうじょせいしょうぼうたい 和木町女性消防隊	51.25	88.0
優秀	熊本県	やつしろしほんぶじょせいしょうぼうたい 八代市本部女性消防隊	44.29	85.5
優秀	三重県	つしじょせいしょうぼうたい 津市女性消防隊	46.28	85.0
優良	岐阜県	たかやまししょうぼうだんじょせいしょうぼうたい 高山市消防団女性消防隊	50.61	85.0
優良	奈良県	ならしじょせいしょうぼうたい 奈良市女性消防隊	50.13	84.5
優良	愛知県	あんじょうししょうぼうだんじょせいしょうぼうたい 安城市消防団女性消防隊	52.76	83.0
優良	鳥取県	ぎかいみなとしじょせいしょうぼうたい 境港市女性消防隊	50.53	82.5
優良	鹿児島県	ひおきしじょせいしょうぼうたい 日置市女性消防隊	50.02	80.5
優良	山形県	おぐにまちじょせいしょうぼうたい 小国町女性消防隊	51.11	79.0

## 第26回全国女性消防操法大会 成績表(優秀選手)

	コース	都道府県	女性消防隊名	選手名
指揮者	1	千葉県	かしわしじょせいしょうぼうたい 柏市女性消防隊	まつとみ ゆみこ 裕富 由美子
	2	山口県	わきちょうじょせいしょうぼうたい 和木町女性消防隊	よねむら さやみ 米村 清美
1番員	1	福岡県	ちくごしじょせいしょうぼうたい 筑後市女性消防隊	すずむら りえこ 鈴村 理恵子
	2	宮崎県	しいばそんしょうぼうだんじょせいしょうぼうたい 椎葉村消防団女性消防隊	おまえ さちこ 尾前 幸子
2番員	1	福岡県	ちくごしじょせいしょうぼうたい 筑後市女性消防隊	おおやま えみ 大山 恵美
	2	新潟県	じょうえつしじょせいしょうぼうたい 上越市女性消防隊	さとう みき 佐藤 未樹
3番員	1	栃木県	うつのみやしじょせいしょうぼうたい 宇都宮市女性消防隊	いづか のりこ 飯塚 典子
	2	山口県	わきちょうじょせいしょうぼうたい 和木町女性消防隊	いわおか くみこ 岩岡 久美子
4番員	1	千葉県	かしわしじょせいしょうぼうたい 柏市女性消防隊	ふじわら みき 藤原 美貴
	2	山口県	わきちょうじょせいしょうぼうたい 和木町女性消防隊	かわの ゆきえ 川野 夕起恵



## 第26回全国女性消防操法大会 「激励交流会」を開催

(公財)日本消防協会

令和7年10月27日(月)、第26回全国女性消防操法大会激励交流会を神奈川県横浜市の横浜港大さん橋国際客船ターミナル「大さん橋ホール」で開催しました。

激励交流会は、全国女性消防操法大会出場選手を激励し、消防関係者の交流と士気高揚を目的として操法大会前日に開催しています。

交流会には出場選手のほか国会議員をはじめとする来賓の方々、消防応援団・応援ゲスト、消防関係者など約600名が参加されました。

開場後は、会場内で横浜市のPR動画及び令和元年に横浜市で開催した第24回全国女性消防操法大会のダイジェスト映像を楽しんでいただきました。

激励交流会では、秋本日本消防協会会長の主催者あいさつで始まり、伊地知横浜市副市長(横浜市長代理出席)と大沢消防庁長官からごあいさつをいただきました。

また、消防応援団の山田邦子さん、平野啓子さん、蝶野正洋さん、地元ゆかりの応援ゲストとして横浜市出身の石塚英彦さんに駆けつけていただき、皆さんから激励メッセージをいただいた後、神奈川県代表である小田原市女性消防隊の小河奈世子さんによる選手代表決意表明、登壇者全員での記念撮影が行われました。

渋谷横浜市会議長による乾杯のご発声時には、登壇している代表選手全員が拳を突き上げ、操法大会への強い意気込みを感じる乾杯となりました。

交流・歓談の場では、山田邦子さんから選手の皆さんへサプライズで持ち歌「明日は今日より」のプレゼントがあり、会場が一体となって盛り上がりました。

最後は、佐々木横浜市消防局長から閉会のあいさつをいただき、激励交流会は盛会のうちに終了となりました。

全国から集まった女性消防隊員を中心とした消防関係者が交流を図ることで、地域間の絆を深めるとともに、翌日の操法大会本番に向け、出場選手の皆さんの士気は大いに高まりました。

### ●あいさつ



秋本日本消防協会会長



伊地知副市長(横浜市長代理)



大沢消防庁長官



●消防応援団



山田 邦子さん



平野 啓子さん



蝶野 正洋さん

●地元ゆかりの応援ゲスト



石塚 英彦さん

●選手代表決意表明



神奈川県代表 小河 奈世子さん  
(小田原市女性消防隊)

●乾杯



渋谷横浜市会議長



●交流・歓談



●閉会あいさつ



佐々木横浜市消防局長

# ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」 出演者紹介

(公財)日本消防協会

日本消防協会では、芸能界、スポーツ界等の著名な方々により結成された「消防応援団」の御協力を得て、全国各地で頑張っている消防団員にエールを送るとともに、一般の方々にも消防団活動等について理解を深めてもらうため、消防団に関するラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」を放送しています。

今回は、令和7年8月から令和7年10月までに放送した出演者を紹介します。

なお、放送した番組は、日本消防協会のホームページで聴くことができます。



令和7年8月放送分に  
出演の消防応援団  
鈴木杏樹さん

8月2日又は3日放送



兵庫県  
垂水消防団  
分団長  
岸部 克俊さん

ラジオと言う事でとても緊張しましたが、阪神淡路大震災の事や、これから起こりうる南海トラフ巨大地震の事など色々話しをし、自分の思いなどを発信できて良かったです。

これから分団長として地域の安全安心のため頑張っていきたいです。

8月9日又は10日放送



東京都  
芝消防団  
副分団長  
藤野 友美子さん

女性の活躍推進に向けた取組みについて紹介させていただきました。鈴木杏樹さんに共感していただきとても嬉しかったです。今後も、全国の女性消防団員の背中を押していけるように、積極的に訓練や指導、広報活動等を行っていききたいと思います。

8月16日又は17日放送



徳島県  
東みよし町消防団  
副団長  
中尾山 秀政さん

『おはよう！ニッポン全国消防団』の収録、大変光栄でした。中学生への体験機会や消防団の重要性をPRできた充実した時間でした。この放送をきっかけに、少しでも多くの方が消防団への入団に関心を持っていれば嬉しいのです。

8月23日又は24日放送



長野県  
長野市消防団  
副団長  
村田 浩一さん

ラジオ収録では、消防団の活動や自身の思いを伝えました。限られた時間の中で、少しでも多くの方に私たちの使命ややりがい届けたいという気持ちで臨み、地域を守る誇りと責任を改めて実感できた、非常に意義ある経験でした。

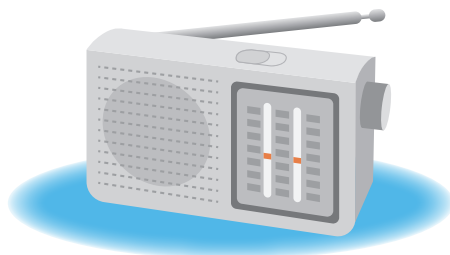
8月30日又は31日放送



富山県  
富山市消防団  
団員  
渡邊 裕梨さん

富山市消防音楽隊のカラーガード隊での経験を生かし、現在消防団員として活動しています。ラジオでは幼児防災教室、火の用心パレード、消防団推しゴト紹介プロジェクトなどの活動を紹介させて頂きました。今後も活動の場を広げていきたいです。ありがとうございました。





令和7年9月放送分に  
出演の消防応援団  
松村邦洋さん

9月6日又は7日放送



山口県  
光市消防団  
団本部長  
山本 晃さん

ラジオ出演の依頼を受け、人生の中で貴重な体験をさせていただきました。

大変緊張しましたが、松村さんの出身地が隣町ということで、いろいろとフォローしていただき大変助かりました。ありがとうございました。また、番組を通して光市消防団のPRができ、今後も様々な訓練や新しい取組を行いながら、市民の安心・安全のため活動してまいります。

9月13日又は14日放送



熊本県  
菊陽町消防団  
団長  
大塚 敏さん

今回はラジオ出演という貴重な経験ができたうえに、菊陽町消防団の活動を全国に紹介することができて幸いです。

また、収録の際にはゲストの松村邦洋さんとひろたさんから8月の熊本豪雨災害へのお見舞いの言葉をいただき、大変感謝しております。災害はいつ起こるか分かりません。

これからも地域防災の要の消防団として私たちが活動に取り組み頑張ってまいります！

9月20日又は21日放送



岩手県  
大船渡市消防団  
団員  
菅野 彩花さん

大船渡市や私達の消防団の魅力を紹介させて頂きありがとうございました！

私は名古屋から移住してまだ約1年半ですが、消防団のお陰で沢山の出会いや貴重な経験を頂いてきたと改めて感じました。

今後とも知識・技術の向上に努め、災害に備えていけたらと思います。

9月27日又は28日放送



山梨県  
甲斐市消防団  
団員  
堀口 正彦さん

今回ラジオ収録にあたり、関係者の皆様には大変お世話になりました。

収録日まで緊張の毎日でしたが、松村さんのトークはさすがですね。友達感覚で話することができました。貴重な経験をありがとうございました。

『全国の消防団員の皆さん これからも一緒に頑張るじゃね！』



令和7年10月放送分に  
出演の消防応援団  
柏原芳恵さん

10月4日又は5日放送



大阪府  
枚方市消防団  
副団長  
杉本 明規子さん

この度は枚方市消防団女性分団についてお伝えできる場をいただきありがとうございます。

柏原芳恵さんとひろたさんとの対談で温かい言葉をいただき、あらためて地域防災力を高める担い手となれるよう消防団活動に邁進していこうと、気持ちが引き締まりました。

これからも消防団の良さをもっと知っていただけるよう広報活動にも力を入れていきたいと思います。

10月11日又は12日放送



香川県  
琴平町消防団  
分団長  
森井 幹夫さん

この度は念願であった「おはよう!ニッポン全国消防団」に出演することができ大変嬉しく存じます。

琴平町消防団の日々の活動や団員の心意気をPRすることができ、また課題等もお話できる機会をいただけたこと非常に感謝しております。

この出演を機に、今後も地域防災唯一無二の消防団を目指し、日々の活動に邁進してまいりたいと存じます。

10月18日又は19日放送



茨城県  
筑西市消防団  
分団長  
新山 かをりさん

今回このお話を頂いて、不安もありましたが、スタッフの方が打ち合わせをしてくださり、台本も頂けたので安心して当日を迎えられました。当日のゲストが柏原芳恵さんでとても懐かしく、暖かい感じで話しかけてくださったのでとても嬉しかったです。とても貴重な体験が出来ました。ありがとうございます。

10月25日又は26日放送



青森県  
六ヶ所村消防団  
分団長  
小泉 陽大さん

今回はこのような貴重な体験をさせていただき誠にありがとうございます。

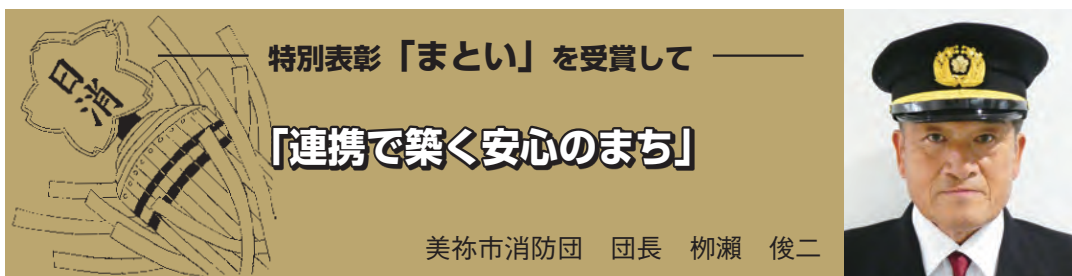
柏原芳恵さんのお力添えもあり楽しくお話できました。今回のラジオをきっかけに六ヶ所村の地域性など広く知ってもらえたと思います。

これからも地域の皆様のご協力のもと活動していきたいと思います。

# 「おはよう！ニッポン全国消防団」放送日時

地方	県	放送局	放送日	放送時間	備考
北海道		(株) S T V ラ ジ オ	日	5:50~6:00	
東北	青森	青森放送(株)	日	7:20~7:30	
	岩手	(株) I B C 岩手放送	日	6:15~6:25	
	宮城	東北放送(株)	土	5:00~5:10	
	秋田	(株) 秋田放送	日	6:15~6:25	
	山形	山形放送(株)	日	6:20~6:30	
	福島	(株) ラ ジ オ 福島	土	5:40~5:50	
	新潟	(株) 新潟放送	日	7:40~7:50	
関東	東京	(株) ニ ッ ボ ン 放送	日	6:15~6:25	
	神奈川	(株) ニ ッ ボ ン 放送	日	6:15~6:25	
	埼玉	(株) ニ ッ ボ ン 放送	日	6:15~6:25	
	群馬	(株) ニ ッ ボ ン 放送	日	6:15~6:25	
	千葉	(株) ニ ッ ボ ン 放送	日	6:15~6:25	
	茨城	(株) ニ ッ ボ ン 放送	日	6:15~6:25	
	栃木	(株) ニ ッ ボ ン 放送	日	6:15~6:25	
	山梨	(株) ニ ッ ボ ン 放送	日	6:15~6:25	
	長野	信越放送(株)	日	6:50~7:00	
中部	福井	福井放送(株)	日	6:10~6:20	
	石川	北陸放送(株)	日	7:35~7:45	
	富山	北日本放送(株)	日	6:10~6:20	
	三重	東海ラジオ放送(株)	土	5:30~5:40	
	愛知	東海ラジオ放送(株)	土	5:30~5:40	
	静岡	東海ラジオ放送(株)・ニッポン放送(株)	土・日	5:30~5:40 6:15~6:25	一部地域は東海ラジオ放送
	岐阜	東海ラジオ放送(株)	土	5:30~5:40	
近畿	京都	大阪放送(株)	日	6:00~6:10	
	大阪	大阪放送(株)	日	6:00~6:10	
	兵庫	大阪放送(株)	日	6:00~6:10	
	奈良	(株)和歌山放送・大阪放送(株)	土・日	6:30~6:40 6:00~6:10	一部地域は大阪放送
	滋賀	東海ラジオ放送(株)・大阪放送(株)	土・日	5:30~5:40 6:00~6:10	一部地域は東海ラジオ放送
	和歌山	(株) 和歌山放送	土	6:30~6:40	
中国	鳥取	(株) 山陰放送	土	5:30~5:40	
	島根	(株) 山陰放送	土	5:30~5:40	
	岡山	西日本放送(株)・(株)中国放送	土・日	7:35~7:45 5:30~5:40	一部聞きづらい地域があります。 一部地域は中国放送
	広島	(株) 中国放送	日	5:30~5:40	
	山口	山口放送(株)	土	6:50~7:00	
四国	徳島	四国放送(株)	土	6:40~6:50	
	香川	西日本放送(株)	土	7:35~7:45	
	愛媛	南海放送(株)	日	6:55~7:05	
	高知	(株) 高知放送	日	6:40~6:50	
九州	長崎	長崎放送(株)	土	7:25~7:35	
	福岡	九州朝日放送(株)	日	6:15~6:25	
	大分	(株) 大分放送	日	6:45~6:55	
	佐賀	長崎放送(株)	土	7:25~7:35	
	熊本	(株) 熊本放送	土	6:50~7:00	
	宮崎	(株) 宮崎放送	日	6:20~6:30	
	鹿児島	(株) 南日本放送	土	8:30~8:40	
	沖縄	(株) ラ ジ オ 沖縄	日	6:35~6:45	





## 1 はじめに

令和7年3月7日(金)に日本消防会館ニッショーホールで開催された「第77回日本消防協会定例表彰式」において、念願であった特別表彰「まとい」を受賞いたしました。全国の消防団から毎年10団体に限り授与される荣誉ある「まとい」を受賞できたことは喜びに堪えません。この受賞は諸先輩方が積み重ねてきた功績の賜物であり、団員の士気や誇りの象徴として後世に引き継いでいきたいと思います。

## 2 美祢市の紹介

美祢市は山口県のほぼ中央部に位置し、四方を山に囲まれ県内で唯一海に面していません。二級河川の厚狭川と厚東川が市の北側から南側まで流れており、美しい景観と豊かな自然に恵まれた市です。管内には日本最大規模のカルス台地『秋吉台』があり、石灰岩による独特の地形と広大な草原風景が広がります。他にも無煙炭を産出する『大嶺炭田』や東大寺の大仏に使われている銅を産出した『長登銅山跡』など見どころがたくさんあり、市内全域が日本ジオパークに認定されています。

## 3 美祢市消防団の紹介

美祢市消防団は平成20年に1市2町の合併に伴い発足しました。令和7年4月1日(火)現在の団員数は761名で、市の人口減少が進む中、部隊統合や機能別団員の拡充などの諸策を講じ団員数の保持に努めています。車両

についてはポンプ車8台、普通積載車29台、軽積載車9台の計46台を配備しており、災害対応だけでなくとどまらず各種訓練や地域行事にも積極的に参加するなど、地域に根ざした活動を行い地域防災力の向上にも努めています。

## 4 美祢市消防団の活動

災害発生時の現場活動をはじめ、夏季訓練や消防本部と合同で実施する連携訓練、伐木訓練等を計画し、年間をとおして訓練を実施しています。

連携訓練では実際の災害現場で消防職員と団員が協力して活動ができるようにテーマを掲げ取組んでおり、過去には住宅密集地の警防計画の作成、消防ポンプの座学や取り扱い要領の確認、火災現場を想定した図上訓練、中継送水や水槽付消防ポンプ自動車への補水要領の確認などを行ってきました。さらには山口県消防操法大会出場へ向けた訓練にも取り組み、当市消防団は、山口県のみで実施されている「応急操法」に出場しています。これ



連携訓練写真(図上訓練)



操法大会

は、実際の火災現場を想定し、消防団員が迅速かつ安全に障害物を突破しながらホースを延長し放水技術を競う実践的な競技です。毎年、訓練をとおして団員の絆が深まる姿を見て、頼もしさを感じています。

毎年2月下旬から3月上旬に秋吉台山焼きが開催されます。これは秋吉台で行われる早春の伝統行事で、約1,138ヘクタールもの広大なカルスト台地が炎につつまれます。火入れ者や観光客の安全確保と延焼防止のため消防団員が出動して警戒活動を行っています。

## 5 大雨災害への対応

美祢市では令和5年6月29日(木)から7月1日(土)にかけて活発な梅雨前線の影響で記録的な大雨が降り、市内全域で土砂崩れや浸水等の災害が発生しました。主要道路が冠水し、消防本部の車両が現場に到着できない場所が多く、災害に備えて機庫待機していた各地域の消防団員が避難誘導や安否確認、水没した車両の荷台に取り残された方の救出などの事案に対応しました。災害が多発した6月30日(金)の夜間から7月1日(土)の明け方にかけて、39部隊149名の団員が機庫待機し、延べ79名の団員が災害対応を行いました。夜間の活動のため危険を伴いましたが、安全管理を徹底し、被害を最小限に抑えることに努めました。大雨が去った後も、市内全域の被害状況が把握できない中、各地域の団員が被



災害復旧活動

害にあった家屋や公共施設の土砂の除去、土のう設営等を自主的に実施しました。また、市内で床上・床下浸水被害を受けた家屋が計395棟あり、各家庭から出た災害ごみの収集が追いつかない状況を鑑み、被災者の不安な気持ちを少しでも和らげることができるよう、7月8日(土)、9日(日)に消防団員が集結し、消防本部と合同で災害ごみの収集、運搬作業を実施しました。高温で湿度も高く過酷な環境下での作業となりましたが、被災者が一刻も早く元の暮らしを取り戻せるようお願いしました。

## 6 おわりに

近年日本各地で大雨や地震などの災害が発生していますが、この度の大雨災害を経験し、改めて連携の大切さを認識しました。消防本部と消防団が一丸となり災害に立ち向かうことで被害の軽減、災害後の早期復旧・復興につながると身を持って感じました。より一層連携を深め、市民が安心して生活できるまちづくりを目指していきたいと思います。

最後になりますが、今回の受賞にあたり格別のご高配を賜りました日本消防協会をはじめとする消防関係者の方々、そしていつも消防団の活動にご理解とご協力をいただいております団員のご家族の皆様にご心より感謝を申し上げます。



# 更なる 「地域防災力の向上」を 目指して



熱海市消防団 団長 櫻井 佳久

## 1 熱海市の紹介

熱海市は、静岡県の最東部に位置し、東は相模灘に面し海と山に挟まれた急峻な地形が特徴です。管内面積は61.7km<sup>2</sup>、約60%が山林となり、市街地は、山腹から海岸にかけて階段状に広がっています。

古くから天与の温泉と海山の景観美、住む人々のおもてなしと市勢発展への弛みない努力によって発展の道を歩んでまいりました。首都圏からのアクセスの良さなどから、年間300万人もの多くの観光客の皆様が訪れています。

## 2 消防団の概要

熱海市消防団は、昭和22年11月に設置し、熱海(東部・中部・西部)、泉・伊豆山、多賀、網代・初島の4つの方面隊に、11個分団及び女性消防部で編成し、令和7年4月1日(火)現在334名の団員が在籍しています。



熱海市・伊東市消防団合同訓練

消防車両等の配備状況については、消防ポンプ自動車11台(CD-I型)、防災活動車(軽自動車)1台、可搬式ポンプ(C1級)21台を配備しています。

## 3 消防団の活動

市民はもとより当市を訪れる多くの観光客の安全・安心を守るため、毎月1日を「防火デー」に定め、火災防御訓練をはじめとした各種訓練を実施し、毎月15日には、各分団詰所に配備された資機材・機関等の点検を実施し有事に備えています。

熱海消防の全消防力を公開する演習は、年2回(春・秋)の火災予防週間中の行事として消防本部・消防署と合同で実施し、常備消防と非常備消防の連携強化、消防職団員の士気高揚を図るとともに市民からの信頼を高めています。

更に、発生が危惧されている南海トラ



熱海市消防団普通救命講習





田方支部ラッパ隊合同訓練



初島救急小型船運用訓練

フ地震、相模トラフ地震をはじめ、近年激甚化する自然災害に備えるため、隣接する伊東市消防団及び神奈川県湯河原町消防団とも定期的に合同演習を実施するなど、大規模災害時における応援・受援体制の訓練もあわせて行い、相互連携に努めています。

一方、女性消防部は平成7年に発足して令和7年で30年を迎えました。「阪神淡路大震災」の募金活動から始まった活動は、現在も女性のもつソフトな感性を生かし、高齢者世帯宅の防火訪問、予防広報活動をはじめ、災害時における救護活動等の一翼を担っています。

また、「熱海海上花火大会」は、昭和27年にはじまった歴史ある花火大会で、夏に限らず年間を通じて10回以上開催され、四季折々の花火を楽しむため毎回多くの観光客で賑い、消防団及び消防本部・消防署は一体となって警戒体制を整え、来場者の安心・安全の確保に努めています。

#### 4 おわりに

熱海市においても、地域防災力の中核を担う消防団には、ますますの期待が寄せられている中、消防団員の公務災害防



令和7年熱海消防出初式

止・安全対策を第一に考え、公益財団法人静岡県消防協会と連携を図り、田方支部管内(5市1町:熱海市、伊東市、三島市、伊豆の国市、伊豆市、函南町)の消防団は、消防団員研修会、ラッパ隊合同訓練や礼式指導会などの各種合同訓練をはじめ、消防団員教育、消防団員確保対策事業を積極的に行い、消防団の充実強化に努めています。

今後とも、熱海市消防団の更なる「地域防災力の向上」を目指し、関係組織との連携を密にし、より一層努力していく所存でございます。



# 「絆で守る、阿南市の安全 — 消防団の挑戦と未来」



阿南市消防団 団長 中川 満雄

## 1 阿南市の紹介

徳島県南部に位置する阿南市は、美しい自然環境と豊かな文化を誇る地域です。市は海に面しており、四季折々の風景が楽しめるほか、地元の特産品や伝統行事も魅力的です。特に、四国最東端の阿南海岸は美しい夕日が見られるスポットとして知られ、観光客に人気があります。また、温泉地や歴史的な神社仏閣も点在し、訪れる人々に多様な体験を提供しています。阿南市の地域住民は温かく、コミュニティの絆が強いことでも知られています。地域の人々は互いに助け合い、支え合う文化が根付いており、これが市の魅力の一つとなっています。市内では地域の安全と安心を守るために、消防団を中心とした防災活動が活発に行われており、地域住民の防災意識の向上にも寄与しています。

## 2 阿南市消防団の紹介

阿南市消防団は、従来の阿南市消防団（12分団、56班、定数1,250名）に加え、平成の合併により那賀川町消防団（6分団、定数130名）および羽ノ浦町消防団（7分団、定数150名）が統合され、1団14分団69班、定数1,530名という県下最大の消防団が誕生しました。令和7年4月1日（火）より、人口の減少を考慮し、地域の実情に合わせた定数1,310名で地域の安全を守るために活動しています。

消防団は、平時の防災活動から災害時の緊急対応まで幅広い業務を担っています。団員は、地域の防災意識を高めるた

めの啓発活動や訓練を行い、住民との連携を深めています。また、消防団は地域行事にも積極的に参加し、その存在をアピールすることで、地域社会の一員としての役割を果たしています。

## 3 阿南市消防団の活動

### 3.1 平時の活動

阿南市消防団は、定期的に消防訓練を実施しています。これにより、団員の技術向上と連携強化を図り、万が一の事態に備えています。訓練内容には消火活動、火災予防のための啓発活動が含まれており、団員は実践的なスキルを身につけています。

地域貢献も重要な活動の一環です。消防団は地域のイベントや祭りに積極的に参加し、消防団の存在をアピールしています。これにより、地域住民との信頼関係を築くことができ、消防団の活動への理解を深めてもらうことを目指しています。また、地域の学校との連携も強化しており、消防団は学校での防災教育を行い、子どもたちに消防の重要性を伝えて



小学生への防災教育



防災訓練

います。子どもたちが消防団に興味を持つことで、将来的な団員確保にもつながります。

### 3.2 災害時の活動

災害や行方不明者が発生した場合、迅速に対応するための体制を整えています。被災者の救助活動、水害発生時の住民への広報や堤防等の被害状況調査、また地域コミュニティを活用した行方不明捜索など、地域の安心・安全を確保するために日々活動をしています。

災害時の情報伝達にも力を入れており、SNSや地域の広報を活用して、住民に必要な情報を迅速に提供しています。これにより、住民が適切な行動を取れるようサポートしています。災害発生時には、消防団員が迅速に現場に駆けつけ、地域の状況を把握し、必要な支援を行います。

### 3.3 団員確保の取り組み

消防団の活動を支えるためには、団員の確保が重要です。阿南市消防団は、地域住民に対して団員募集の広報活動を行い、特に若い世代をターゲットにしたイベントや説明会を開催しています。地元テレビ局と連携し消防団の活動を知ってもらう取り組みやSNSや地域の広報紙を活用し、消防団の活動の成果や団員の声を発信することで、地域住民の関心を引き、参加を促しています。

また、消防団の活動を体験できるイベ



ホース延長訓練

ントを定期的に行い、地域の子どもたちや若者に対して消防団の仕事の魅力を伝える努力も行っています。これにより、将来的な団員確保のための基盤を築いています。

## 4 おわりに

阿南市消防団は、平時の訓練や地域貢献、災害時の迅速な対応、団員確保の取り組み、そして社会の変化に対応した新たな活動を通じて、地域の安全を守る重要な役割を果たしています。地域住民との連携を深めながら、今後もより良い活動を展開していくことが求められます。

消防団の活動が地域に根付くことで、阿南市全体の防災力が向上し、安心・安全な地域社会の実現に貢献できることを心から願っています。地域の絆を深め、共に支え合う社会を築くために、阿南市消防団の活動を通じて今後も重要な役割を果たせるよう精進してまいります。





# 「時代に即した 消防団活動に向けて」



玖珠町消防団 団長 梶原 龍生

## 1 玖珠町の紹介

大分県玖珠町は、昭和30年3月1日(火)に4町村が合併して誕生し、令和7年で町制70周年になります。玖珠町は、大分県西部に位置しており人口は約14,386人(令和2年国勢調査)、面積は286.6平方キロメートルで、万年山や伐株山といった特徴的な山々と清らかな水に育まれた、雄大な自然が広がるのどかな町です。

玖珠町は「童話の里」としても知られ、毎年5月5日のこどもの日に、仮装パレードやジャンボこいのぼりのくぐり抜けが楽しめる日本童話祭が行われています。また、国指定登録有形文化財である豊後森機関庫も人気の観光スポットとなっています。

## 2 玖珠町消防団の概要

玖珠町消防団は、1消防団、4方面隊、28部で構成されています。玖珠町は多くの山々に囲まれていることから、特に林野火災の早期鎮圧に向けた活動が求められる一方で、昨今の異常気象による大雨等の災害の多発化により、消防団が担う役割は益々増えています。そのため、令和5年に「玖珠町消防団のあり方検討委員会」を設置し、「消防団員の条例定数の見直し」、「機能別消防団員制度の導入」、「消防団の行事や訓練について」、「消防団員の装備の充実」の改善を順次実施し、団員を確保するとともに魅力ある消防団づくりを目指し、地域防災力の充実や強化を図っています。令和7年度には消防団員の不足を補うためにOB団員を中心とした機能別消防団を導入しました。



玖珠町消防団出初式

### 3 消防団の主な活動

玖珠町消防団の活動は1月の出初式に始まります。3月と11月には全国火災予防運動に併せて、団員の体力や気力、消防技術の向上を図るため、班長以上を対象とした現地教養訓練と、初任科訓練を実施しています。また、河川や防火水槽等の水利から火災現場までを約10台のポンプでホースを1～2 km中継し、無線機による情報連絡を行って放水する中継訓練を行っています。4月には、団員の消火活動をすばやく正確に行うために、部ごとに火消しの速さを競う火消大会を行っています。6月は、町内全域の危険個所を現地で確認する防災パトロールを行い、危険個所について、実際に被害があった場合の住民避難などを想定し、いち早く災害に対応できるよう関係機関と協議します。また、防災活動体制の充実を図ることを目的とした玖珠郡合同防災訓練に参加もしています。12月には、消防団全体の士気や消防技術の向上を図るための年末訓練を行っています。そのほかにも各部において、地域の巡回や町の夏祭りの警戒警備、年末夜警などの活動を行っています。

### 4 おわりに

近年、全国各地で、地震や豪雨などの様々な災害が発生し、甚大な被害をもたらしている中、町民の安全・安心を確保する消防団活動への期待は年々大きくなっています。しかしながら、少子高齢化に伴い、全国の消防団において団員が年々減少する中、玖珠町消防団でも、団員の確保に苦慮しているというのが現状です。持続可能な消防団組織の確立のためには、消防団員の安定的かつ継続的な加入は喫緊の課題であります。そのためにも、消防活動の重要性や必要性を積極的に周知・広報することで地域や町民の理解・協力を得ることに努め、魅力ある消防団を目指して活動をしていきたいと思っています。



玖珠町消防団 東部方面隊 15部



火消大会



## シンフォニー（長野県） 「多くの方が参加し、 応援される消防団を目指して」

松本市消防団 副団長 西沢 知恵美

### 1 松本市の紹介

松本市は、長野県のほぼ中央に位置し、雄大な北アルプスの山々に抱かれた自然豊かな街です。市街地には国宝「松本城」がそびえ立ち、その重厚かつ優美な姿は、歴史ある城下町の風情と見事に調和しています。市民や観光客からも広く親しまれており、四季折々の表情を楽しめる名所として知られています。

また、市の西側には中部山岳国立公園の一部であり、国の文化財（特別名勝・特別天然記念物）に指定された「上高地」エリアがあります。年間を通じて多くの観光客が訪れる、国内屈指の自然景勝地となっています。

長野県にお越しの際は、ぜひ松本市にも足をお運びください。



松本城訓練の様子

### 2 松本市消防団について

松本市消防団は、団本部を中心に、8つのブロックに分かれた39の分団、3つの機能別分団、支援隊およびラップ隊に

より組織されており、令和7年4月2日(水)現在で1,675名の団員が所属しています。

団の保有車両としては、消防ポンプ自動車28台、積載車92台、広報車2台が配備されており、地域の安心・安全を守るために日々活動を行っています。

### 3 若者と女性が参加しやすい消防団を目指して

近年の団員高齢化や女性団員の増加といった背景を受け、令和6年度に若者および女性を対象とした意見交換会を実施し、入団に対する関心や課題について調査を行いました。

その結果、入団にあたって重視されているのは「参加の自由度」であることが判明しました。特に女性に焦点を当てて整理したところ、「体力への不安」や「男性中心の組織というイメージ」が障壁になっていることが明らかとなりました。

これを踏まえ、年齢や性別に関わらず、災害活動以外でも誰もが気軽に参加できる新たな組織が必要であると考え、令和7年4月に「支援隊」を発足させました。

私はその統括として副団長に昇任し、女性として初の松本市消防団副団長を務めることとなりました。この取り組みを通じて、「女性でも消防団を通じて地域貢献ができる」ということを積極的に発信し、防災に関心を持つ方々が、消防団を“防災活動のツール”として捉え、参加できる環境づくりを進めています。





学生への消防団体験の様子



自主防災訓練の様子

この支援隊ですが、3つの柱「自主防災組織との連携強化支援」「入団促進活動の支援」「分団活動の支援」を軸に運用しており、自主防災組織と地元消防団との関係強化を目指した取り組みや、従来行ってきた入団促進活動でなく、住民参加型の広報活動を展開するなど、消防団の重要性や魅力がより伝わるよう、各種支援に特化した活動を行っています。

災害対応とは異なり、支援隊の活動はスケジュールが明確で、各自の都合に合わせて参加できるため、まずは支援隊を通じて消防団の活動を知る「入口」として、気軽に関わっていただければと考えています。

そしてもう一つ、支援隊とは別に消防団全体の活性化を図る目的で「活性化委員会」を立ち上げました。私は委員長という立場で活動を推進しています。

この活性化委員会は、縦方向の指揮命令系統が基本の消防団組織に横ぐしを刺し、分団の垣根を越えた関係を構築して松本市消防団全体の活性化を図ることを目的としています。

今年の活性化委員会のテーマは「若手消防団の活性化」で、班長以下の団員を対象に委員を募り、現場の意見を吸い上げて、持続可能な消防団の在り方を模索しています。

#### 4 今後の活動について

多様性が重視される現代においては、誰もが興味・関心を持ちやすく、参加しやすい環境を整えていくことがより一層重要だと考えています。

私が消防団に入団するきっかけとなったのは、地域の方々と話していた際、災害の報せを受けた団員たちが、先ほどまで世間話をしていたとは思えないほどの迅速さで現場へ出動していく姿を目の当たりにし、大きな感銘を受けたことでした。

災害に対応するためには、知識や技術、資機材の充実もちろん重要ですが、何より大切なのは「共に活動する仲間」の存在です。地域防災の要である消防団を、時代に即した形へと“シンカ”させ、大切な人々と街を守るため、今後も積極的に取り組んでまいります。



副団長 辞令交付の様子



# 消防団員一人一人を大切に

群馬県 高山村消防団 団長 後藤 英樹

## 1 高山村消防団について

高山村は群馬県吾妻郡の東部に位置し、標高1,000メートル級の山々に囲まれた盆地の中にある人口3,200人程の村です。団は令和7年6月1日(日)現在、定数122名、実員119名と比較的小さな組織となりますが「自分達の地域は自分達で守る」という強い信念と誇りを持ち、日夜活動しています。

特色としては、高山村役場職員のみで構成し、特に平日日中の火災等へ迅速に対応できる「役場分団」の設置や、入山者が増える季節に山火事防止啓発活動を実施しています。

また、吾妻郡内消防団や吾妻広域消防本部との絆はとても強く、災害時や各行事の協力体制が強固であり、支えていただいていることで良い運営ができています。

## 2 加入促進への取組

### ① 消防団再編計画策定

高山村消防団においても加入促進、団維持

継続のための対策が最重要課題でしたが、単発的な対策では長期的に見て課題解消とはならないと考え、現団員の実状、社会情勢の変化等総体的に協議決定を行い、団全体が同じ方向を向いて活動していくことが大切であると判断し、令和4年度において計画を策定しました。

現団員は責任を持って活動している一方、家庭や仕事、プライベートな時間を犠牲にしていることも事実であり、負担と慢性的拘束感から出る疑問や不満が結果的に風評的悪化を招き、加入不足にもつながっているのではないかと考え、全団員にアンケート調査を実施したのち、原因と対策、効果や現団員への影響など、消防組織法や消防力の整備指針等と照らし合わせながら協議、分析し、消防団の総意決定に至りました。

現状と併せて大切にしたいものは団の伝統やこれまで携わっていただいた方々の活動と苦労を忘れることなく「変えなくてはならない



吾妻郡消防ポンプ操法競技大会では団一丸となり力を発揮

もの、変えてはならないもの」を見極め策定に向け進めることでした。

結果、活動環境の改善を行い、コンパクトかつ消火技術や災害対応能力の向上に結びつく活動に変えていく方針の計画となりました。活動内容縮小、詰所集約に係る出動態勢の強化、女性の入団等盛りこんだ今計画は5年毎に見直しすることとし、その時々課題や問題に対応することとしています。

## ②女性の入団

女性の力を加え、団の維持継続及び強化を図ることを目的とし、令和6年度より女性のみで構成される班を設置しました。現場では主に救護活動、平時は訓練、啓発活動を行うとともに、消火技術習得を目標に消火栓使用訓練も行っています。

## ③PR動画・パンフレット

群馬県実施の団紹介に係るPR動画や団員募集に係るパンフレット作製に参加し、これ

を村内で周知しています。また、令和4年度には村内において、消防庁実施の消防団員入団促進キャンペーンを開催し村内外の方々に消防団活動のPRを行いました。

## 3 今後の展望

人口減少、少子高齢化等に伴い、消防団員の担い手も減少していくと考えられます。

団員確保に係る対策や活動の効率性を重視し、運営していくことが必要であると考えます。「村を守る」という責任感とこれに係る負担のバランスを良好に保つことが大切であり、全ては人が行うことですから、具体的な対策はもとより、まずは団員一人一人を大切に思い、消防団活動の場においても思いやりを持った運営をしていかなければならないと考えます。

また、県内、全国の消防団様に目をむけますと、良い事例がたくさんありますので参考にさせていただき、団維持継続に努めてまいりたいと思います。



女性団員による消火栓使用訓練





## 共済事業交付車両の活用事例

神奈川県 藤沢市消防団

(公財)日本消防協会では、(一財)日本宝くじ協会のご支援を得て、資機材を積載したワンボックスカー(消防団防災学習・災害活動車Ⅱ)を全国の消防団に交付しています。この車両は、防災訓練等への取組を支援するため、平時は地域住民、子供たち、事業所等の防災学習や防災指導用として活用し、災害時には緊急車両として人員・資機材等の搬送に活用できるものです。

全国の消防団の中から、今回は藤沢市消防団における交付車両の活用事例をご紹介します。

(公財)日本消防協会 福祉部

### はじめに

藤沢市は、神奈川県の中央南部に位置し、南は相模湾に面し、富士・箱根・丹沢の山なみを望む気候温暖な自然環境に恵まれた街です。

東京駅から約50kmに位置し、JR東海道線、小田急江ノ島線、江ノ島電鉄、湘南モノレール、相鉄いずみ野線、横浜市営地下鉄ブルーラインが乗り入れるなど交通にも大変恵まれています。



海岸線には1年を通して多くの人が訪れる代表的な観光スポット「江の島」や片瀬・鶴沼エリアなどマリンスポーツの聖地が、市街地には大型ショッピングモールをはじめとした商業施設や東海道五十三次「藤沢宿」などの旧所・名跡が、北部には農業の盛んな田園エリアが広がるなど魅力あふれる藤沢市。現在は人口44万人を超える湘南の中心的都市として発展を続けています。

### 藤沢市消防団の紹介

1本部31個分団体制で、団本部4人、1個分団15人を基本として、江の島を管轄する1個分団は30人以上、海岸に接する4個分団は20人以上で編成し、条例定数504人で消防団活動を実施しています。近年、消防団員が減少傾向にあることを受け、今後発生する可能性のある大規模災害に対応するほか、効果的な広報活動を実施するため、活動内容を限定した機能別消防団員制度(大規模災害団員及び音楽団員)を導入しています。

## 交付車両の活用事例

### 春季火災予防キャンペーンに消防団ブースを出展

春季火災予防週間にあわせて、火災発生の防止を図り、広く市民に火災予防意識の啓発及び広報を行うことを目的に開催された「春季火災予防キャンペーン」。

藤沢市消防団もブースを出展し、火災予防を呼びかけるとともに、消防団の認知度向上や消防団員確保に向けたPR活動を基本団員と大規模災害団員とで実施しました。

日時：令和7年3月1日(土) 11時00分～13時00分

場所：ミスターマックス湘南藤沢ショッピングセンター



#### 実施内容：

- ・消防団車両及び資機材の展示、防火衣着装体験、消防団クイズ、消防団活動紹介の動画上映など
- ・機能別音楽団員の演奏(藤沢市消防局消防音楽隊と公募による市民参加者と合同)



当日は、1,600人程が訪れ大盛況のなか、消防団ブースにも長蛇の列ができました。

この度、日本消防協会から寄贈していただいた消防団防災学習・災害活動車Ⅱ(キャラバン)及び防災学習用資機材を活用・展示したことで、集客力のある効果的なPRや火災予防広報を実施できたほか、訪れた方々は最新の車両を前に興味津々で、車内を見学したり、写真撮影などをしていました。

会場内においてもひととき目を引く車両であり、緊急走行が可能で輸送力も抜群の消防団防災学習・災害活動車Ⅱ。今後も、平時は車両・資機材等を活用した消防団のPR等に、有事の際は人員搬送や後方支援等に活用し、更なる地域防災力の強化を目指します。



# 第38回日中消防協会定期協議会の開催

(公財)日本消防協会

令和7年10月12日(日)、中国北京市の首都国際会議展覽センターホテル会議室において、日本消防協会から秋本会長以下7名、中国消防協会から陳会長以下6名が出席し、第38回日中消防協会定期協議会が開催されました。

昭和60年(1985年)、両国消防協会間で消防に関する情報交流を行いながら、友好交流を深め、両国消防の一層の充実発展を目指す旨の協定を締結してから40年が経過しました。これまで日中両国消防協会は、防火防災分野で協力し、視察団の相互派遣、防災訓練の実施、研修生の派遣、セミナーの開催などを通じて、両国消防同士の理解と友情を深め、消防事業を促進、国民の福祉を保障し、日中民間友好交流のモデルになることで、互いに経験を共有してまいりました。

38回目となる今回の協議会では、はじめに陳会長から日本消防協会代表団の訪中の歓迎と長年にわたり中国の消防事業への支援に対し感謝するとともに、翌日に開幕される第21回中国国際消防展で有意義な成果を得られることを期待すること、この定期協議会を通じて日中両国の民間消防交流の伝統を更に発展させ、新たな時代における両国消防協会の友好関係を一層高めていけると確信しているとあいさつがありました。



また、秋本会長から日中両国消防協会40年の交流は、両国消防の発展に大きな成果をあげてきたこと、日本では近年のこれまでとは様相を異にする災害に対し、日本消防は常に緊張感をもって対応していること、両国消防の友好協力を更に深め、両国消防の益々の発展、両国国民の皆さんの安全向上に努力していきたいとあいさつがありました。



定期協議会は、開催国である中国消防協会から陳会長を議長に選出した後、両国の消防業務について情報交換しました。

中国からは「中国におけるリチウム電池の防火・消火対策の現状と消防協会の取り組み」について情報提供がありました。現在、リチウム電池はデータセンター、蓄電所、電動自転車、新エネルギー車などの分野で広く使用されてるが、使用規模の拡大に伴い安全リスクが顕在化し火災事故が頻発している。2025年には世界で1万件以上のリチウム電池火災が発生し、重大な財産損失



のみならず民衆の生命安全にも脅威を与えており、リチウム電池の防火・消火対策は新エネルギー産業の発展に伴う長期的な課題である。中国消防協会では、大学、研究機関、関連企業と連携し、標準制定、技術開発、国際協力などの面で取り組みを進めており、今後もより多くの力を結集し、技術革新と実践的な取り組みを進め、各分野におけるリチウム電池の安全な応用を力強く支えていく、そして、世界のリチウム電池の防火・消火対策事業にも有益な参考となることを願っているとの内容でした。

また、日本からは「新会館完成後イベント開催状況等」について報告しました。昨年、日本消防の総合的な中核拠点とも言うべき新しい日本消防会館を完成させ、様々なイベントを開催してきました。自治体消防75周年記念大会では、天皇陛下の御臨席を仰ぎ、内閣総理大臣をはじめとする多数の御来賓の御出席のもと式典を開催、また今年に入ってから「山火事など世界災害」国際会議等を開催しました。今後もこの新会館を活用し、日本消防の一層の発展のため尽力していきたいと述べました。

その後、両国消防協会から提出された議題について協議し、提出議題全てが合意されました。協議結果は以下のとおりです。

### 1 2026年度、第39回日中消防協会定期協議会の開催について

2026年度における日中消防協会定期協議会の開催場所は日本とする。

具体的な内容は今後両国消防協会では協議し決定する。

### 2 2026年度、第37回中国消防視察団の派遣について

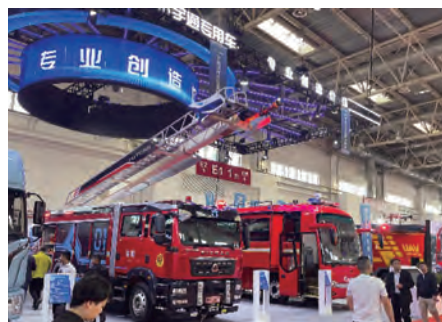
日本側の要望を受け、2026年度の中国消防視察団を受け入れる。

具体的な内容は今後両国消防協会では協議し決定する。

### 3 2026年度、中国消防中堅幹部研修視察団の受入れについて

中国側の要望を受け、2026年度の中国消防中堅幹部研修視察団を受け入れる。

具体的な内容は今後両国消防協会では協議し決定する。



定期協議会の翌日に開催された「第21回中国国際消防展」の様子

# 令和7年度(第25回)「防火防災に関する」 作文コンクールの審査結果について

(生協)全日本消防人共済会

生活協同組合全日本消防人共済会では、毎年全国の中中学生を対象とした「防火防災に関する」作文コンクールを行っています。

「皆さんとともに、地域を守る消防団」を作文のテーマとし、各都道府県の支部から、選抜された作品42点の中から、当共済会において厳正な審査を行った結果、最優秀賞に鹿児島県薩摩川内市立川内南中学校2年 松山 仁悠さんの作品が選ばれました。

今年度もたくさんのご応募ありがとうございました。

佳作以上の10作品は、「防火防災に関する」作文コンクール入賞作品集にして、全国の消防関係機関、市町村役場、支部推薦中学校等へ配布いたします。

## 最優秀賞 (1名)

鹿児島県	薩摩川内市立川内南中学校	2年	松山 仁悠 さん
------	--------------	----	----------

## 優秀賞 (3名)

茨城県	坂東市立東中学校	3年	海老原 麻央 さん
岩手県	大船渡市立第一中学校	2年	千葉 りんか さん
宮城県	蔵王町立遠刈田中学校	1年	遠藤 千璃 さん

## 佳作 (6名)

北海道	栗山町立栗山中学校	3年	川成 日和 さん
香川県	高松市立木太中学校	2年	多田 一千華 さん
秋田県	上小阿仁村立上小阿仁中学校	3年	三浦 清香 さん
富山県	射水市立小杉南中学校	1年	中前 友介 さん
福岡県	筑前町立三輪中学校	3年	武井 望杏 さん
埼玉県	北本市立宮内中学校	3年	田中 翔 さん

## 最優秀賞

鹿児島県

薩摩川内市立川内南中学校 二年 松山 仁 悠

### 身近なヒーロー、地域消防団

消防団。その名前を聞いて、僕が一番に思い浮かべるのは、紺色の制服を着て火災現場で活動する姿よりも、もっと身近な日常の光景だ。それは僕が住む地域の運動会で、広いグラウンドの駐車場で汗を流しながら車の誘導をしてくれるおじさんたちの姿だ。そして冬の寒い夜、赤い回転灯を光らせて、「火の用心ー」という声とともに、赤い消防車で、ゆっくりと地域を巡回している姿だ。彼らは僕の地域ではまさに「地域の力になる」として「いる人たち」そのものである。特別な能力や資格を持っているわけでもない。ましてや職業として防災活動を行っているわけでもない。そんな普通の人々が、なぜここまで地域の安全と安心のために力を尽くすのだろうか、その理由を考えることで、僕は地域の「絆」という言葉が持つ、本当の意味を知った気がする。

消防団の活動は、火災の消火準備活動だけにとどまらない。その役割は、僕が実際に見たような日常的なものから、命に関わるような緊急の事態まで幅広い。台風や集中豪雨の時には氾濫や浸水の危険がある場所に土のうを積んだり、川の水位を警戒して住民に避難を呼びかけたりもする。地震が起これば倒壊した建物の撤去作業や

救助の補助、避難所運営の手伝いなど、消防隊員と同じような活動も行っている。地域消防団は、地域に暮らす人々にとっての「命綱」のような存在だ。地域の行事や祭りの交通整備や警備、地域での防犯活動など、普段から地域に密着した活動を行っているからこそ、地域の危険をすばやく察知することができるのだと思う。そして、どんな時にどんな助けが必要かを誰よりもよく知っている消防団の方々だからこそ、きめ細やかな支援や活動ができるのだと思う。

僕が一番すごいと思うのは、消防団の方々の活動がボランティアで成り立っていることだ。仕事や家庭での役割をこなしながら、自分の大切な時間を削って訓練に励み、地域の活動に参加している。地域の行事では朝早くや夜遅くまで会場整理や警備を行い、防災活動のために暑い日、寒い日関係なく巡回や声掛けを行っている。そこには、報酬や称賛を求める気持ちよりも、純粹に「自分たちが住む地域を守りたい、家族や友人、地域の方たちを守りたい」という強い思いがあるのだろう。

僕たちが安全な日々を、安心して過ごしているのは、消防団の方々の地道な活動があるからこそである。そんな地域を支える消防団員の存在を、もっとたくさんの人に知ってもらいたいと思う。消防団の方々の存在や活動が僕たちの生活を支えていることを忘れず僕たち自身も、地域の一員としてできることを積極的に取り組んでいきたい。そして、よりよい地域づくりを行っていききたい。僕たちの身近なヒーロー、消防団とともに。





# 「集団扱自動車保険」制度のご案内

(生協)全日本消防人共済会

生活協同組合全日本消防人共済会では、全国の消防団員・消防職員の皆様に、安心の「消防人の火災共済」をご提供しております。

令和7年4月21日(月)より、火災共済ご加入者様のメリットを実感していただけるよう「集団扱自動車保険」の紹介制度を開始いたしました。

## 1 集団扱自動車保険のご案内

火災共済にご加入の組合員様は、下記取扱代理店を通じて直接ご契約手続きをすることで、「集団扱自動車保険」にご加入できる、便利な制度でございます。

配偶者や同居のご家族のお車を対象にできるケースもございますので、お気軽にご相談・お見積り依頼をご活用ください。

※現在、火災共済に未加入の消防団員・消防職員の皆様も、無料でお見積りできます。

## 2 お見積り依頼・契約の流れ

- (1) リーフレットのQRコードをスマホ等で読み込み、必要項目を入力・送信ください。  
折り返しの連絡手段は、次の3種類からご選択。 ① LINE ② 電子メール ③ 電話
- (2) 上記、ご希望の連絡手段にて対応します。  
取扱代理店(損保ジャパンパートナーズ)から直接ご連絡。 お見積りのみのご依頼も大歓迎。
- (3) 契約ご希望の場合は、電話またはメールでご契約手続きを実施します。  
「集団扱自動車保険」のご契約にあたっては組合員(火災共済ご加入者)となる必要がございます。  
※ご不明な点は、取扱代理店までご相談ください。

### 集団扱自動車保険

こちらからも  
お見積り依頼が可能です。



<https://forms.gle/D5d8HZfTcmJfMiQKA>

リーフレット、お見積り方法の詳細は「全日本消防人共済会」のホームページからご確認いただけます。

<https://www.shouboujin.or.jp>

### 取扱代理店

損害保険ジャパンパートナーズ株式会社  
カスタマーサポート第一部

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビルディング16階  
TEL 03-6837-8850 FAX 03-5989-0601  
(受付時間：平日の午前9時から午後5時まで)

DK25-00017 (2025/11/06)

# 令和6年中に発生した製品火災に関する調査結果

総務省消防庁 予防課

## 1 製品火災対策の推進について

近年、製品事故に対する国民の関心は高くなっており、それに伴い、消費者の視点に立った行政サービスの実現が強く求められています。このような状況を踏まえ、平成21年9月に内閣府の外局として消費者庁が発足し、消費者安全法が施行されて以降、製品事故対策による消費者の安心・安全の確保は、より政府全体の重要課題として推進されてきました。

消防庁におきましても、電気用品、燃焼機器及び自動車等といった国民の日常生活において身近な製品が発火源となる火災について、情報の収集を行い、四半期ごとにその内容を公表するとともに、当該情報を関係機関と共有し、連携することにより、製品火災対策に継続して取り組んでいます。

## 2 令和6年中に発生した製品火災に関する調査結果について

令和6年中に発生した製品火災（電気用品、燃焼機器及び自動車等の不具合により発生したと消防機関により判断された火災）について、製品ごとの発生件数<sup>※1</sup>について図及び表1のとおり取りまとめました。

製品火災は電気用品が155件、燃焼機器が20件、自動車等が19件となっています。

なお、電気用品の火災のうち最も多く発生しているのはバッテリー及びバッテリーを含めた電気用品、燃焼機器の火災のうち最も多く発生しているのはガストーチバーナーでした。

※1 令和6年の件数は令和7年5月31日時点の速報値。このほかに消防機関が出火原因を調査中のものが90件ある。以下同じ。

表1：令和6年中の製品火災の調査結果

単位：〔件〕

	電気用品	燃焼機器	自動車等	全体
製品火災	155	20	19	194
製品の不具合により発生したか否か特定に至らなかった火災	712	67	297	1076

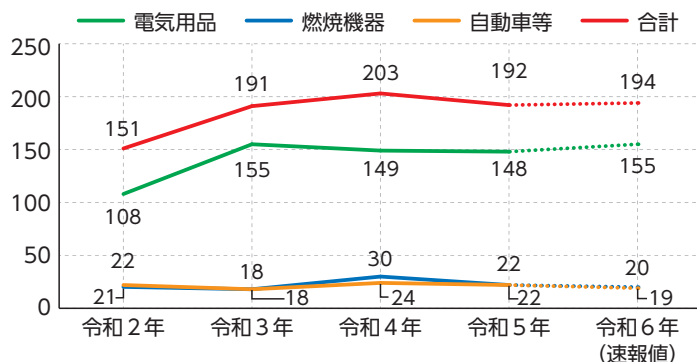
※1 使用者の使用方法の不良及び自然災害に起因する火災は、本調査で集計する製品火災には含まれない。

※2 表1のほかに令和6年中に発生した製品火災で、消防機関が出火原因を調査中のものが90件ある。

## 3 今後の取組について

製品火災対策を推進し、類似火災の発生を防止するためには、製品火災の情報を広く国民に周知するとともに、消防機関が行う火災原因調査等により製品に係る火災の出火原因を究明し、出火原因に応じた火災の再発防止対策を講ずることが大変重要です。このため、消防庁では、製品火災に関する調査結果を公表するとともに、全国の消防機関が行う火災原因調査に対し専門的な知見や資機材による鑑識等の技術支援を行うなど、消防機関の調査技術の向上や火災原因調査・原因究明体制の充実・強化を推進しているところであり、今後も関係機関との連携強化を図りつつ、消費者の安心・安全の確保に努めてまいります。

図：最近5年間における製品火災件数の推移



# 浦添市消防団と宜野湾市消防団で 合同訓練を実施

浦添市消防団 団長 又吉 正信

この度、浦添市と隣接する宜野湾市の宜野湾市消防団と合同訓練を実施しましたのでご報告します。

## 概要

浦添市内には漁港や海岸があり、浦添市消防団員の中にも釣りやレジャーで海を利用する者がいること、またその際に水難事故の救助者になる可能性があることから、以前から水難訓練の実施を希望する団員が多くおりました。

今年度になって隣接市の宜野湾市消防団の団員との交流によって、宜野湾市に所在する民間団体が水難事故防止教育イベントを実施しているとの報告があり、その団体へ協力を仰ぐことで今回水難訓練を実施することができました。訓練は浦添市消防団と宜野湾市消防団の合同訓練とし、両団員で訓練計画を作成し、両消防団長から了承を得る形で実現しました。

宜野湾市消防団の濱元団長も合同訓練に関してとても理解があり、訓練内容等は団員に任せるとの意向であったこと、また私自身としましても近隣消防団との交流は積極的に行うべきと考えており、当該訓練の実施が決まってからは短期間で開催に至りました。

## 訓練内容

合同訓練は令和7年8月24日(日)13時から、宜野湾市マリン支援センターのプールで行われ、「一般社団法人 UITEMATE@沖縄」から数名を講師として迎え、水難事故時の「119番通報」から常備消防隊到着までの時間を個々でどう対処すれば良いのか、また、自分自身の身を守るための基本の対処法としてペットボトルを使用し浮く方法等について約1時間実技講習を受けました。その後は宜野湾市消防団員の関係者の方に水中ドローンのデモンストレーションを行っていただきました。最後に両消防団対抗競泳競技を行い、両団とも大いに盛り上がり充実した訓練となりました。

## まとめ

令和6年の都道府県別の水難事故件数は沖縄県が最多ということもあり、本市消防団としても水難事故防止及び対処法に寄与していきたいと考えています。

また、今回、初めて他市消防団との合同訓練を行いました。参加した団員からは「他市消防団員との訓練は非常に刺激になった。」「次は別の内容でも合同訓練を行いたい。」など、前向きな声が多数ありました。

浦添市消防団でも「団員数の減少」が課題であり、継続して消防団員加入に取り組んでいるところであります。加えて、現在所属している団員のモチベーション維持にも力を入れて取り組むべきことだと考えており、今回の合同訓練実施は団員にとって大きな刺激となりました。今後も合同訓練など様々な取り組みを行い、やりがいのある消防団を目指していきたいと考えております。







## 自分たちのまちは、 自分たちで守る

高島市消防団

滋賀県高島市は琵琶湖の西部に位置し、平成17年1月1日(土)、マキノ町、今津町、朽木村、安曇川町、高島町、新旭町の5町1村が合併し誕生しました。古来より当地域は、京都・奈良の都と北陸を結ぶ交通の要衝として栄え、中でも陸上交通は比叡・比良山麓を湖畔に沿って走る西近江路や、塩漬けされた鯖を運搬する街道であったことから鯖街道と呼ばれる若狭街道が主となり、これらの街道と天津方面への湖上交通の拠点である港町や宿場町として栄えてきました。

高島市消防団は、1本部12分団29部、の団員数466名(うち女性消防団員15名)で組織しており、消防ポンプ自動車24台、小型動力ポンプ15台を保有しています。(令和7年4月1日(火)現在)

管轄区域の面積は滋賀県内で最大となる約693km<sup>2</sup>と広大で、山岳地帯や琵琶湖を含み、多様な災害が発生する地域であるため日ごろから多くの訓練を実施しています。昨年度は水利困難地域で発生した林野火災を想定して長距離送水訓練を実施し、高島市消防本部所有のドローンも活用するなど効率的な部隊配置、指揮本部と活動隊との情報伝達にも取り組んでいます。

また、令和5年度からは消防団管理システムを導入しており、災害情報の共有や消防団事務のDX化を図り、効率的な事務運営を行っています。

高島市消防団は地域防災力の中核を担う組織として「自分たちのまちは、自分たちで守る」という信念のもと、防災力の向上に努めてまいります。



指揮本部運営訓練の様子



女性消防団員による消火活動訓練の様子

うちの

# 名物団員



松本市消防団 副団長

つつき たけし  
筒木 猛

松本市消防団からは、安曇・奈川ブロックを管轄する副団長の筒木猛さんをご紹介します。筒木さんは、乗鞍高原温泉にて宿泊施設「岳の屋」を営む傍ら、乗鞍高原から見える壮大な星空を撮影する「星景写真家」としてもご活躍されています。

この特技を活かし、松本市消防団広報委員長として松本市消防団公式Instagramの運営に携わり、団の活動や魅力を多くの方に発信しています。

今年で団歴20年を迎える筒木さんは、その豊富な経験と温厚な人柄で団員からも厚く信頼される存在で、松本市消防団にとって、まさに欠かすことのできない「名物団員」と言えます。



若狭消防組合おおい消防団 第3分団 団員

藤井 健人

おおい消防団からは、藤井さんをご紹介します。藤井さんは、おおい町の夏の風物詩である花火大会「若狭おおいスーパー大火勢」の若衆頭として活躍されています。燃え盛る高さ20メートル、重さ1トンの木の葉形の巨大松明を回転させる舵取り役で、藤井さんの「やっさあー!!」という掛け声で巨大松明が回転し真夏の夜空を豪快に乱舞します。

消防団員としては、操法大会に出場されて模範となる素晴らしい活動をしていただきました。これからおおい消防団を担う存在として、持ち前のリーダーシップを活かしていただき、地域住民を支える消防団員として、今後の活躍を期待しています。



長野県

福井県



## チンバット・アノン

伊豆の国市消防団からは、女性消防隊員のチンバット・アノンさんを紹介します。

アノンさんは2023年8月、国際交流を通じて地域の架け橋となることを志し、伊豆の国市の国際交流員として母国モンゴルから来日しました。その活動の中で地域の防災訓練に参加したことをきっかけに、地元住民の命と暮らしを守る消防団の存在に強く感銘を受け、自らも役に立ちたいと入団を決意しました。

持ち前の明るさと前向きな姿勢で、すぐに仲間とも打ち解け、現在は女性消防隊員として応急手当講習の指導や各種訓練、地域行事への参加など、多岐にわたって活躍しています。

「国籍は違って、助けたいという気持ちは同じです。私もこの地域の一員として、少しでも力になりたい」と語るアノンさん。国際交流員として、そして消防団員として、地域に元氣と安心を届ける存在です。



## 小西 義則

愛荘町消防団からは小西団長の紹介をします。

愛荘町消防団を率いる小西団長は、地域に欠かせない存在として多方面でご活躍されています。

本業は建設会社の社長として、住宅の基礎工事や町道の道路補修や除雪作業など、日々の現場作業を通じて、町のインフラを支えておられます。また、町のまちづくり計画の委員も務められるなど、町行政への貢献も多大です。

消防団の活動では、火災現場での確かな指揮を執り、団員を率いて消火活動にあたるなど、非常に頼もしいリーダーシップを発揮されています。

その多忙な日々の合間を縫って楽しむ趣味は、愛車のハーレーダビッドソンでのツーリングです。週末には仲間とツーリングを楽しまれているそうです。

今後ますますのご活躍を期待しています。



## 森口 秀樹

徳島県阿南市は「ひと、まち、心をつなぐ笑顔の光流都市<sup>こうりゅう</sup>」として知られています。今回は、阿南市消防団宝田分団の森口分団長をご紹介します。

森口分団長は、平成4年4月に消防団に入団し、33年間地域の安心・安全を守るために尽力してきました。令和3年4月からは分団長として、火災や各種災害現場で団員を統率し、被害を最小限に抑える活動を行っています。彼のリーダーシップのもと、団員たちは迅速かつ効果的に対応し、地域住民の信頼を得ています。

私生活では、主に猪や鹿の狩猟を25年間続けており、最近では食害や人に危害を加える動物の駆除活動にも取り組んでいます。

また、休日には川や海でのカヤックやバイクツーリングを楽しんでおり、これらの趣味から得た経験やスキルは災害活動にも役立たいと考えています。森口分団長の献身的な活動は、阿南市の安全と安心を支える重要な要素です。彼のような地域のリーダーがいることで、住民は安心して暮らせ、地域全体がより強固な絆で結ばれています。





若狭消防組合おい消防団  
団長

時岡 良太



おい町は、平成18年3月3日(金)、大飯町・名田庄村が合併して誕生しました。

町域の90%を占める山林と、若狭湾国定公園に面し、美しいリアス式の眺望が得られる海を中心に、豊かな自然に囲まれた町です。この自然はきのこや梅、じねんじょを特産物としてもたらししてくれます。福井県の南西部に位置し、西は大飯郡高浜町、京都府綾部市、南は南丹市、東は小浜市、滋賀県高島市に接しています。面積は212平方kmで、そのほとんどを中山間地が占めています。

若狭消防組合おい消防団は、昭和30年に発足した名田庄村消防団、大飯町消防団が始まりで、昭和45年に近隣市町村(1市3町1村)をもって設立された若狭消防組合の消防

団として現在にいたっています。平成31年4月1日(月)には、機能別分団が新設され、団員の定数は280人へと組織再編し、現在は団本部以下9分団274人(基本団員211人、機能別団員63人うち女性10人)で構成されています。消防力としては、ポンプ車2台、小型動力消防ポンプ積載車16台、総務省消防庁事業で救助資機材搭載型車両1台を配備しています。

おい消防団は毎年1月の出初式に始まり、文化財防火訓練、春季秋季火災予防運動の防火パレード、春季秋季訓練会、防災訓練、操法大会、年末年始の警戒活動と1年間を通し、訓練、予防広報を実施しております。

消防団員としての活動内容については時代とともに変化しており、様々な災害に対応すべく消防団員としての重責をより感じております。おい消防団は再編の過渡期に入っています。再編のテーマとして人員の適正化、資機材の強化、拠点施設の整備ができるように協議を重ねております。さらなる防災体制の強化を行い、令和に適した消防団の在り方をみつけていきたいと思っています。



消防出初式 一斉放水



水防訓練 土のう作り

## 2025年度 全国統一防火標語

# 「急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし」

## 令和7年12月・令和8年1月の日本消防協会関係行事

12月26日(金)	(生協)全日本消防人共済会 防火ポスター・作文コンクール表彰式
1月13日(火)～16日(金)	第52回消防団幹部特別研修
1月28日(水)～30日(金)	第25回消防団幹部候補中央特別研修(男性の部)
1月下旬予定	全国消防殉職者遺族会理事会

## 編集後記

第26回全国女性消防操法大会(神奈川県横浜市)に出場された選手の皆様、そして大会に関わった全ての皆様、本当にお疲れ様でした!編集担当、T.Kです。

当日、撮影係の私は、競技に臨む皆様を間近で拝見するという貴重な機会をいただきました。実は私、前々日に同地で行われたフルマラソンに出場しており、情けないことに当日の朝は若干の疲れを残しておりました。しかし会場で選手の皆様の真剣な眼差しを前にすると疲れも吹き飛び、今しかない一瞬一瞬を記録に残したい思いで、カメラを片手に走り回りました。

積み重ねてこられた訓練に裏打ちされた動作はとても美しく、一人ひとりが輝いている姿がとても印象的でした。改めて、皆様のご健闘に心より敬意を表します。

さて、少しだけフルマラソンの話をさせていただきます。私自身、10数年ぶりの出場でした。平凡なタイムでしたが、完走出来たことは素直に嬉しいものですね。しかも、足元にご注目ください。流行りの厚底マラソンシューズではなく、「ワラーチ」と呼ばれるペラペラ底の履物で完走することが出来たので、喜びもひとしおでした。

「ワラーチ」に関する詳しい説明はここでは割愛しますが、裸足感覚で走れるため、自然なランニングフォームを促すと言われています(※注)。私も最初は半信半疑でしたが、その圧倒的な開放感がやみつきとなりました。ご興味のある方、ご連絡をお待ちしております。

※一般的な見解であり、効果には個人差があります。



### お詫び

日本消防2025年10月号p.11「地域総合防災力の発揮」大会を開催において、記載内容に誤りがありました。下記のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

正: 71か所が離発着可能

誤: 72か所が離発着可能

## 購読募集

購読を希望される方は、(公財)日本消防協会へお問い合わせください。

※ 年間購読料(送料込) 2,508円

(問合せ先) 総務部企画担当 03-6263-9496

## 寄稿のお願い

皆さまの消防団活動への取り組み、ご意見などをもとに、より充実した有意義なものにしていきたいと考えておりますので、多数のご寄稿をお待ちしています。

Eメールでも受け付けしています。

kikou@nissho.or.jp

月刊「日本消防」第七十八巻第十一号  
令和七年十一月五日印刷  
令和七年十一月十日発行

編集人 米澤健

発行所 (公財)日本消防協会

東京都港区虎ノ門二丁目十九番十六

電話 〇三(6263)九四〇一(代)

印刷所

東京都中央区銀座七丁目一六―二二

株式会社アイネット

電話 〇三(3549)五六〇〇

# 消防人の 火災共済

## 風水雪害等共済金

### 補償倍率UP

### 300倍から750倍へ

消防団員  
消防職員  
ならどなたでも  
加入できます

まさかの時お役に立ちます。

地震等災害見舞金付

掛金25口、2,500円 (56%以上の焼損)  
火災共済金375万円のお支払い

## 1500倍補償

### B型火災共済

消防団  
消防本部

毎に皆で加入

掛金は、5口500円から5口毎、25口2,500円まで選択できます。

落雷の損害  
にも対応!!

建物と動産の配分は常に4:1とする契約となります。

お申し込みは、所属の消防団担当から都道府県支部（消防協会）へ。



お支払  
対象

●火災共済金

火災・落雷・爆発・破裂

●風水雪害等共済金

風災・水災・雪災・車両飛び込み・航空機墜落等

●地震等災害見舞金

地震・津波・噴火

生活協同組合 全日本消防人共済会 TEL 03-6263-9822  
詳しくはホームページをご覧ください <https://www.shouboujin.or.jp/>

消防団員・消防職員だからこそ加入できる

# 消防個人年金

積立金には予定利率（年1.25%）、配当率が適用されます。

老後生活に向けた  
計画的な財産形成  
が可能です。

月払の場合、  
毎月一万円（ゆうちょ  
銀行は五千円）から  
ご加入いただけます。

給付金の受取りは、  
年金（6種類）又は  
一時金からご選択  
いただけます。

途中で脱退しても、  
積立金（脱退一時金）  
が受け取れます。

税制適格コースは  
個人年金保険料控除  
自由選択コースは  
一般の生命保険料控除  
の対象となります。

消防団員、消防職員  
の退団・退職後も  
継続できます。

（パンフレット・加入申込書のお取り寄せ、お問い合わせ先）

公益財団法人 日本消防協会 年金共済部

0120-658-494 平日 9:00～17:00

お問い合わせ先

各市町村の消防事務担当者または消防本部消防団事務担当者、都道府県消防協会

（公財）日本消防協会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門二丁目9番16号  
TEL.(03)6263-9401（代表）  
<https://www.nissho.or.jp>